

「花の会」無事に終演できました

10月8日(日)第27回新舞踊「花の会」を開催致しました。当日は狭山市地域体育祭と重なってしまい、当連盟の中にも体育祭に参加する会員が多く例年ですと40番程ある演目が25番と少なくなりちょっと寂しい会となってしまいましたが、会員達は一生懸命に努めておりました・・・

コロナ感染予防の為に公共施設の使用ができず練習も儘ならず辛い思いをしていた時期もありましたが、今回は舞台に向けて会員其々が楽しみながら一生懸命に練習を重ねておりました。急に決まった御祝儀舞でも、短い時間で子ども達はしっかりと振りを入れ立派に舞台上で披露しておりました。指導者達も参加出来なかった会員の分まで、舞台上に立ち盛り上げてくださいました。「本当にお疲れ様」と大きな声で、感謝の気持ちを伝えたいです。

今回初めて舞台作りに参加してくださる中央舞台サービスさん達もかなり気を使ってくださり、短い時間での準備もしっかりと時間通りの開演に間に合わせてくださいました。舞台全体照明は以前より暗い感じになってしまいましたが、今後の課題を残しつつも無事に終演する事ができました。

今年の入場者数は延べ150名。スタッフ24名、中央舞台サービス7名にて実施しました。

狭山市新舞踊連盟会長 藤寿 紫峰



第46回定期演奏会 ～未来への一步～

長かった猛暑の夏も過ぎ、急激な気温の変化にお互いの体調を気遣いながら、10月29日狭山市民文化祭参加 第46回 狭山市三曲連盟定期演奏会を開催することが出来ました。

市長 小谷野様始め、狭山市教育長 滝嶋様より身に余るお言葉をいただき、ご来場の皆様の暖かい拍手に励まされ、盛会のうちに無事終えることが出来ました。

今年は邦楽普及の一環として、子供達の演奏や、砂田先生率いる少年少女合唱団と箏の共演、他にも三味線・箏・尺八の楽器紹介などを行い、特に七夕の妖精「おりぴい」が「さくらさくら」を見事に演奏して、会場を大いに盛り上げてくれました。

コロナの後遺症とも思える会員の減少、高齢化も相まって先行き不安な状況ですが、子供達のしっかりした演奏に将来を期待しつつ、これからも頑張って進めて参りたいと思っております。

ご来場下さいました皆様へ心からの感謝を申し上げ開催報告と致します。

狭山市三曲連盟会長 竹迫ミナミ

